

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	職員からの意見など	課題・改善点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	27	3	1	・クラスと職員数により、多少狭く感じるクラスがある。 ・ボールプールの部屋は子どもの人数によっては狭いと感じることがある。 ・適切であるクラスと利用定員と通常過ごす部屋が、適切でない(狭い)クラスがあると感じる。 ・子どもが数人お休みしている時は、いつもより落ち着いているなと思う。 ・子どもたちの動きに合わせて別の部屋やスペースを利用している。 ・11人のクラスは職員数含め狭いのではと感じる。 ・やや多い気がする。	・活動内容に応じて子どもをグループ分けしたり、部屋を使い分けるなどの工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	22	9	0	・職員が少ないと感じる時がある。 ・数人休むと回すのが大変になる。 ・活動内容によっては、フリーの職員等がいるとより安心・安全に活動を行う事が出来る。 ・常に足りていない。 ・ゆったりとした保育内容に変更している。 ・もう少し余裕がある人数で介助したい。 ・給食時だけでも配置に工夫が欲しい。 ・少ない人数で出来る事をしているが、1人でもプラスしていると余裕につながりそう。	・配置上は基準を満たしているが、日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、充分な職員が配置されているとはいえない日や、逆に配置人数が多く手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事も起り得る為、職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については十分に子どもの力が発揮できるように心掛け、活動に取り組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	27	4	0	・共有空間の部屋では、反響音に対する改善が求められているので検討が必要。 ・きいろ組の部屋の前のトイレに、子ども用トイレがあったら良いなと思う。 ・トイレ(扉)プール等、外部からの視界を配慮する必要がある。 ・分かりやすいとは言いがたい。 ・広く明るい環境が多いが、少し落ち着ける仕切りや1人に慣れる場所がない。	・反響音対策については、業者に相談中です。 ・個々の子どもに合わせた環境について考え、支援に取り組む事を、日々のクラス会議や職員会議で検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	30	1	0	・冬のトイレは寒く水も冷たいので、ゆっくりと子どもに合わせた支援が出来ずらいと思う。 ・月1回エアコン掃除を行ったり、コーナーガードの取り付けがされている。	・冬のトイレ対策については、検討していきます。 ・引き続き環境整備についての意識を持って、支援に取り組んでいきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	28	3	0	・介助員が抜けることや全員が揃わないことが多く、共有がおろそかになっている部分がある。 ・全体で振り返る機会があってもいいのでは。	・時間を有効に使い、各クラス及び職員全体での情報共有に取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	2	4		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25	0	6		・実施しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20	5	6		・第三者による外部評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	30	1	0	・研修に参加しやすい。 ・園内研修や外部研修等様々な研修の機会がある。 ・発達障害の理解のための基本的な研修が少ないと思う。 ・福祉職の基本となる部分の研修が必要だと思う。	・職員一人ひとりが向上心を持ち、研修に参加していけたらと思っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	30	0	1	・他クラスの事が分からない為、知る機会がほしい。	・担当クラスだけではなく、他のクラスとの交流を積極的に取り入れていきたいと思っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	26	1	4		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	0	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	28	2	1	・正職員が中心に行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	27	3	1	・自分自身が知識不足の為、同じプログラムをしている。 ・同じ事の繰り返しで習得する部分もあるが、マンネリ化しない工夫も大切である。	・プログラムについては、一人ひとりの子どもに合わせ、工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	30	0	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	29	2	0		・時間を工夫し、情報共有に努めていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	26	5	0	・振り返りの時間が少ない。 ・出来る範囲での振り返りは行っていると思う。 ・出来る時はしているが“必ず”というのは難しい。 ・各クラスによると思う。	・クラスごとに違いはあるが、正職員とパート職員間での打ち合わせや支援の振り返りが毎日できていない場合もある為、改善及び工夫を行っていきます。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	29	1	1	・子どもの日々の記録はつけているが、活動の記録・反省はされていない。	・クラス会議の充実に取り組んでいきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	27	2	2	・前期・後期と目標を振り返り成長に応じて変更している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	24	2	5		・パート職員にも情報の共有を行っていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25	2	4		・必要に応じて実施しております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか。	／	／	／		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	／	／	／		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	26	2	3		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	1	2		
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	26	2	3	・月1回OTの先生による助言を受けている。 ・コロナ禍により、活動を自粛していたが今後は再開されることを期待する。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	18	2	・機会をまた作って欲しい。 ・個人的には、交流があっても良いと思う。 ・近隣の幼稚園等との交流や園庭をお借りする等出来ればと感じる。 (2) ・年長児クラスにおいては、交流の機会をもっとみてても良いように思う。	・各ご家庭において、幼稚園等の体験保育に通い、交流されている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、近隣こども園の園庭開放への参加の機会等を設けていきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	3	10		・会議内容に応じて、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他の職員への会議内容の報告までは出来ていないこともある為、今後は更なる情報の共有を心掛けていきます。 ・会議に参加したことのない職員の参加についても今後検討していきます。

保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	29	1	1	・日々の連絡帳や電話連絡、面談などを通して、保護者との情報共有に努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	23	3	5	・講演会・勉強会を実施している。	・家族支援への課題が大きく、助言できることを職員間で話し合い、職員のスキルアップを図っていきます。 ・クラス会議等で保護者への支援状況について共有していきます。 ・今後も臨床心理士の先生による勉強会を実施していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	1	5		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	28	0	3		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	30	0	1	・園と自宅での情報共有意識が少なく、自宅で過ごしている様子がわからない。	・連絡帳や電話連絡及び面談内容等、ご自宅での様子についても情報を共有し、クラス職員が適切に対応できるよう努めてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	28	0	3	・保護者交流会やパパ交流会等の機会が設けられている。 ・保護者会はないが、保護者交流会等で保護者同士の交流の機会を設けている。	・現場の職員が保護者交流会により参加できるよう、保護者交流会の実施方法や実施時間帯等について、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	1	2		・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るように今後も心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	28	0	3		
	38	個人情報に十分注意しているか	29	0	2		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	30	0	1	・連絡帳で日々の様子を共有し、必要であれば電話と対面で情報の伝達を行っている。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	22	6	3	・以前（コロナ禍以前）は行われていた。 ・コロナ禍からの5類移行を経て、段階的にを行っている最中である。	・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	26	4	1	・様々な場面を想定した訓練や対応方法について考えること等がなされている。 ・今後、見直しを重ね、充実させていく必要がある。	・マニュアルの見直しを実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	30	0	1	・月1回の避難訓練が行われている。	・避難訓練の内容を見直し、子どもたちの命を守る取り組みを強化していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	29	0	2	・子どもの状況を職員全体での把握に努めている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	30	0	1	・十分に配慮している。（給食提供時のダブルチェック等）	・担当しているクラス以外の対象児についての情報共有を徹底していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	31	0	0	・事例集は作成していないが共有している。	・ヒヤリハットを未然に防ぐための工夫が必要であると考えています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	31	0	0	・研修を行い、日々の支援に繋げている。	・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが、各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていない為、日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思います。 ・虐待防止委員会を中心に研修等を通し、虐待防止に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	29	1	1	・身体拘束と虐待の違いを、組織的に共通意識を持ちたい。 ・支援計画へのこの事柄の記載を見たことがないので、そういった説明・決定がされているかどうか自体が分からない。 ・身体拘束について必ず月1回の振り返りを行い、保護者の同意書も月1回得ている。 ・身体拘束は基本しないものと思っている。 ・了解を得ているが、支援計画に記載せず別用紙に記載あり。	・身体拘束（通園バス利用時）につきましては、支援計画とは別に、個別に保護者の方へ説明し、毎月ごとに見直し、同意書への確認をいただいでおり、その現状況につきましては、担当クラスではない職員一人ひとりにまで周知徹底を行っていきます。

